

僕らの対話が未来を拓く

The Future Talk (TFT)

～The Future Talk (TFT)～

第2回 「いのちを見つめる哲学対話」を開催します。

最近、話題になっているこの本をご存じですか？

『明日この世を去るとしても、今日の花に水をあげなさい』（幻冬舎）

メスも薬も使わず、3000人以上のがん患者と家族に生きる希望を与えた「がん哲学外来」創始者の心揺さぶる言葉の処方箋

今回は、著者である樋野先生をお招きして、哲学対話を進めていきます。

患者さんやご家族の心に寄り添い、対話を通じて大切な言葉を贈る樋野先生は、僕たち学生にどんなメッセージを伝えてくださるのでしょうか。

◆日時：2016年1月11日（祝）13時～16時

◆場所：東京大学 駒場キャンパス 21KOMCEE 303

◆対象：中高大学生・社会人

◆参加費：無料（各自お飲み物をお持ちください）

◆申込：事前申込制

参加申込はUTCPの公式サイトからお願いします。

[\(http://utcp.c.u-tokyo.ac.jp/\)](http://utcp.c.u-tokyo.ac.jp/)



樋野興夫先生プロフィール

医学博士。順天堂大学医学部、病理・腫瘍学教授。一般社団法人がん哲学外来理事長。

2008年「がん哲学外来」を開設し、現在では「がん哲学外来&メディカルカフェ」を全国で展開。不安を抱えた患者と家族に対話を通して支援する予約制・無料の個人面談を行う。肝がん、腎がん研究の功績により日本癌学会奨励賞、高松宮妃癌研究基金学術賞を受賞。著書に『いい覚悟で生きる』12月には新刊『見上げれば、必ずどこかに青空が～今日を生きるいのちの言葉～』が発売予定。

The Future Talk (TFT) とは

～中高生と大人と一緒に問いを立てて考え、より良い未来を見いだしていく対話の場です～



企画：TFT 実行委員会（開智学園総合部7年〈中1〉 菅 拓哉）

主催：東京大学大学院総合文化研究科・教養学部附属「共生のための国際哲学研究センター」（UTCP）上廣共生哲学寄付研究部門 L3 プロジェクト「Philosophy for Everyone（哲学をすべての人に）」